

ギャップジャパン株式会社 & 認定 NPO 法人 エデュケーションエキューブ

◆未来を担う子どもたちのために



ボランティア活動の始まりは、福岡県内近郊の Gap ストア 5 店舗の社員メンバーが、コミュニティ活動の活性化を目的に集まり「未来を担う子供たちのために我々”Gap 人”が
できる活動とは？」を考えたことでした。

内閣府主催ボランティアフォーラムに企業として出席させていただいた際に、日本における子どもの貧困とその連鎖の社会課題の解決に貢献するために活動する認定 NPO 法人エデュケーションエキューブ（※以下 EA3）の代表である草場勇一氏と出会ったことがきっかけで、EA3 さんとのボランティア活動がスタートしました。

その活動の一環として、「子どもたちに職場体験の場を提供したい」という EA3 さんの想いと、「未来を担う子どもたちの手助けをしたい」という Gap 有志の想いが重なり、2018 年 6 月より Gap の古着だけを集めて販売する「職業体験型 Gap フリマ活動」を行うことになりました。

◆職業体験型 Gap フリマ活動

この活動では Gap のカルチャーである「4 つのサービス行動」と「チームレゴニション」（お互いの働きや功績を認め合い、賞賛すること）の 2 つを体験してもらいます。実際に行ってみて、生徒さんたちがお客様のために笑顔で元気よく挨拶する姿や、服をお勧めする姿、楽しそうにマネキンに服を着せる姿を目の当たりにし、子どもたちが新しい事を学ぶ素直さや吸収する速さに感心・感動し、我々スタッフもよい刺激をいただきました。

また子どもたちのほとんどが、積極的にチームで楽しく職場体験に取り組んでくれ、アクションやその成果を仲間とレゴニションしあい、達成感に満ちた嬉しそうな表情で帰っていくのがとても印象的でした。我々が常日頃から実践しているこのカルチャーを、これからも自信をもって体現していくべきものだと再確認することができました。

◆従業員全員の参加

今年度の EA3 さんとの活動では、「職業体験型 Gap フリマ活動」を 6 月と 12 月の 2 回実施。5 店舗で各 2 人以上のボランティア参加を目標とし、Gap の古着提供を各店従業員に呼びかけたことで、直接活動に参加できなくても間接的にボランティアに関わることができる「全員参加型のボランティア」を目指しました。このフリマ活動は、2 年間で合計 4 回実施しており、200 時間以上のボランティア活動時間を計上しています。

その結果、5 店舗で約 250 人の従業員が各自 2 点の古着を毎回提供。計 500 点以上もの古着が集まり、毎回豊富なバリエーションからお買い物いただくことができ、参加されるお客様に喜んでいただいています。フリマ開催前には、商品の値付けやお客様への提供方法の相談や、ブランドのカルチャーについての説明をする打ち合わせを EA3 生徒さんと Gap スタッフで実施しています。また、実際に EA3 の生徒さんたちに店舗業務を実践してもらリアルな「Gap 職業体験」をストアにて 4 月に実施しました。

さらには、ギャップジャパンが企業として参加した 2019 年の九州レインボープライドでは、EA3 代表草場氏、生徒さんらと一緒にブース運営ボランティアやパレードに参加して、多様性について考えるきっかけづくりのお手伝いをさせて頂きました。

◆職業体験の進化と拡大

今後は EA3 さんと第 5 回「職業体験型 Gap フリマ活動」も計画中。生徒さんが目標とアクションを考えてくれており、EA3×Gap が「One チーム」として既に動き出しています。また、フリマ活動とは別に、実店舗での「Gap 職業体験」をより多くの店舗で実施するなど、子どもたちが活動できる場を広げていくための企画立案をしています。

今後の EA3 さんへの支援と生徒さんたちの成長をスタッフ一同楽しみにしています。

